

<今日の説教のポイント マタイによる福音書 28 章 16～20 節>  
受洗準備会で一番力を入れてお話しする、信仰を持つ時に大事な箇所です。

①疑う者がいた?! どういうこと?

復活されたイエス様が天に昇る前に弟子たちを集められた箇所です。まず気になるのは「疑う者もいた」(17)ことです。何を疑ったのでしょうか。大事なことは、「だから主はその人を除かれた」とは記されていないことです。私たちがイエス様を受け入れても、色々分からないことだらけです。しかし、そんなこと当たり前です。だから、さらに学び続けるのです。この時の弟子たちと同じです。

②イエス様が命じられた! 「聖書の」信仰を身につけたいなら …

ここで大事なことは、疑う者も含めて弟子たちは皆、「ガリラヤに行きなさい」(10)というイエス様の命令に従ったのです。そしてやって来た弟子たちにイエス様はやはり命じられ(19-20a)、弟子たちは(疑った者も!)その命令に従ったのです。すなわち、世界に出て行き(「行って」19a)、イエス様の福音を伝えたのです。彼らはイエス様に従い、学び続けて来て、今、イエス様の救いを伝えるように命じられたから、それを始めたのです。自分流の信仰もあります。しかし、もし本気で「聖書の」信仰を身につけたいなら、聖書で主が命じられていることを真剣に受けとめ、従うのが本当でしょう。

③命令は二つ 1)洗礼を受けること。2)キリストの教えを学び続けること。

私たちはなぜ洗礼を受けるのか? その答えは単純です。聖書でイエス様がそうするようにお命じになっているからです。この箇所がそうです。そして、ここにはもう一つ大事なことが命じられています。洗礼を受けた後、イエス様の教えを学び続けることです(20a)。弟子たちから学ぶとは、今は教会で学ぶことを意味します。特に大事なものは、主がそのために設けて下さった安息日の礼拝です。洗礼を受けたものの、このことをしっかり理解しないで(あるいは教えられないで)いる方が少なくありません。しかし、「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(20b)の意味が本当に分かって来るのは、この両輪(洗礼と学び)が揃ってこそです。もし自己流の信仰でなく聖書の信仰を本当に持ちたいならこの箇所が大事、ということが分かっていただけではないでしょうか!